

魔法少女

# エンメルツ

第二章 『藤間アサヒ』

王子様を  
雌奴隷に……  
おんなのこ

脳と身体を  
浸食して



白黒漫画 本編 68P





.....そして次の標的は——



王子様——

==第二章==

{藤間アサヒ}





こ 困ります  
石山先輩……

へへっ  
食事くらい  
いいだろ  
清野？

それとも先輩の言う事  
聞けねえのか？ あ？

やめなよ  
石山君

げっ



うるせえっ  
この男女！  
おとこおんな

スッ



すぐに  
手が出る所は  
昔と同じだね

うげえ  
っ！！



アサヒ！！

同じ陸上部の  
後輩を脅すなんて  
最低の行いだよ



くそっ  
覚えて  
ろっ！！

タッ  
タッ



清野さん  
大丈夫？

あ  
ありがとう  
ございます  
アサヒ先輩  
……！

礼には  
およば  
ないよ

清野さんはボクの  
大切な陸上部の  
後輩なんだから

もしまた何か  
あったら相談して

……は……  
……はい……♡

ホワッアアアアア

……アサヒ様……♡

……  
あーあ

これでまた一人  
いたいけな女生徒が  
犠牲者に……

これで  
何十人目？

アサヒ  
さま♡

そんなつもりは  
全くないん  
だけど……

本人が  
無自覚  
なのが  
また……

でもさ！  
あたし思う  
んだけど……  
スマホ  
貸して！

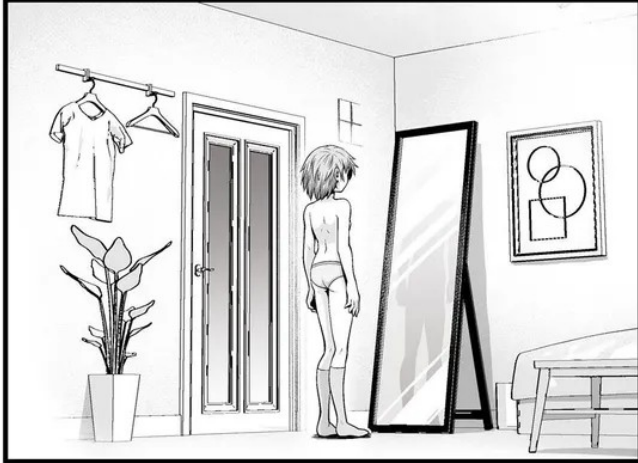
？





——いつから  
だろう……

ボクの一人称が  
『ボク』になった  
のは……



確か…幼い頃見た  
アニメキャラの  
影響で女の子達を  
守り始めて……

王子様!



……  
やっぱり

似合う訳  
ないよ……

……胸は……全く  
成長してない……

……また筋肉  
ついたな……



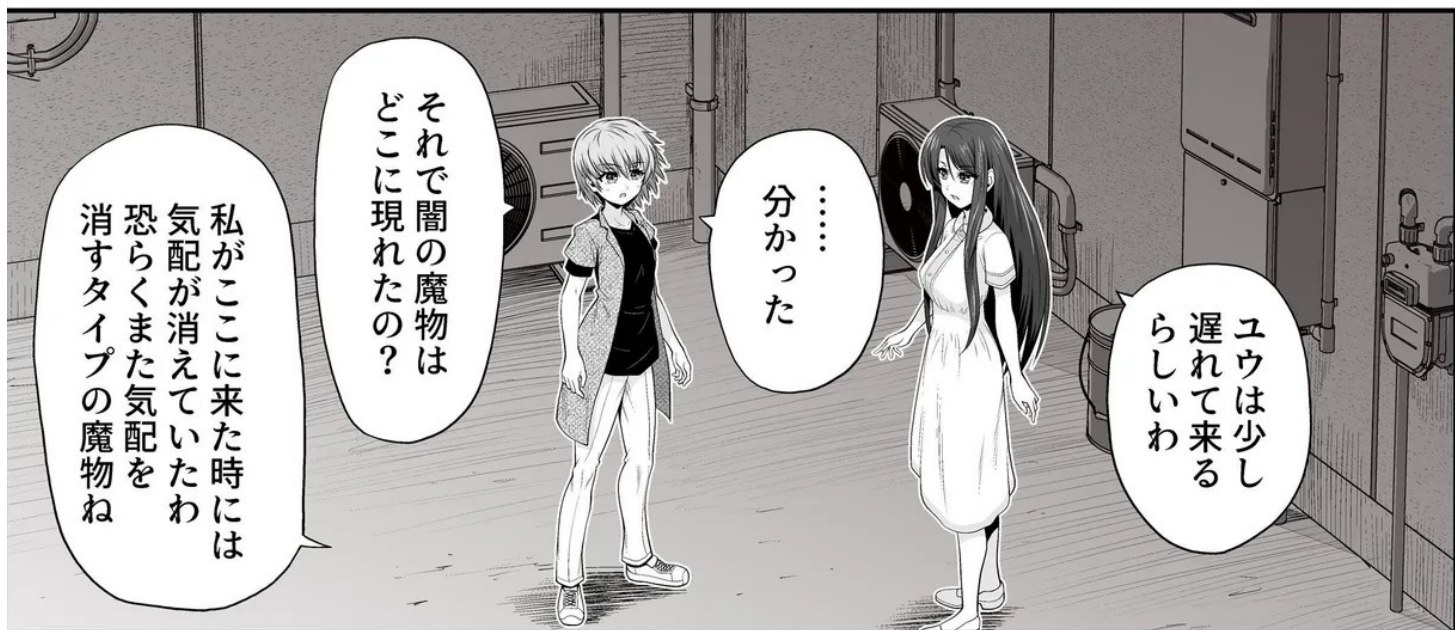


え？

アサヒ  
実は――



プルルッ



それで闇の魔物は  
どこに現れたの？

……  
分かった

ユウは少し  
遅れて来る  
らしいわ

私がここに来た時には  
気配が消えていたわ  
恐らくまた気配を  
消すタイプの魔物ね



……  
そうね

……



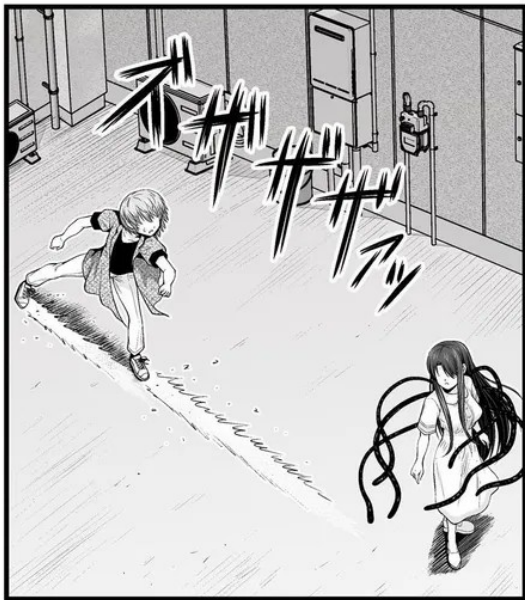
被害が  
なければ  
いいけど……

そうか



闇の魔物は

恐ろしい  
から……♡



気づいた  
わね……

……よく



「闇の魔物をいつも一番早く  
感知し駆けつけるユウが  
ここにいないのは絶対  
おかしいと思った……」

ユウ自身も  
確証が  
持てな  
かった  
らしいし  
ボクも  
半信半疑  
だった

ユウは少し  
遅れてくる  
らしいわ



：エリナから  
連絡が来る前  
ユウが電話で  
教えてくれた  
んだ……

アサヒ  
実は……

「最近エリナの  
様子がおかしい」  
って……



うふふ  
……



でもまさか

君が闇の魔物に  
取り込まれている  
なんて……



生きていたのか!?

ダーゲル!!



ククッ……  
さすがだな

ズザン

シャインハーツ  
アサヒよ

ルム

んお♡

んお♡  
お♡

エリナに寄生し  
支配したのだ

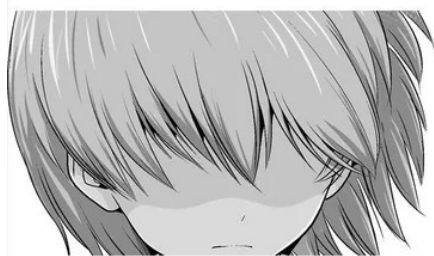
エリナ

お前の本当の  
姿を見せてやれ

はい♡  
ご主人  
様♡



ご主人様に脳を  
改造していただいて♡  
雌豚に調教してただけて  
私は幸せよお♡



私はご主人様の  
オチ○ポ様に服従する  
淫らな雌豚奴隷……♡

そ……  
そんな



エリナが  
苦しんでた  
事も……  
エウが  
悩んでた  
事も……

……  
ボクは  
何も知らな  
かった……

……ごめん……

気付けなく  
て……

本当に  
ごめん……



でも……  
シンシン  
キンキン!!



ボクが必ず



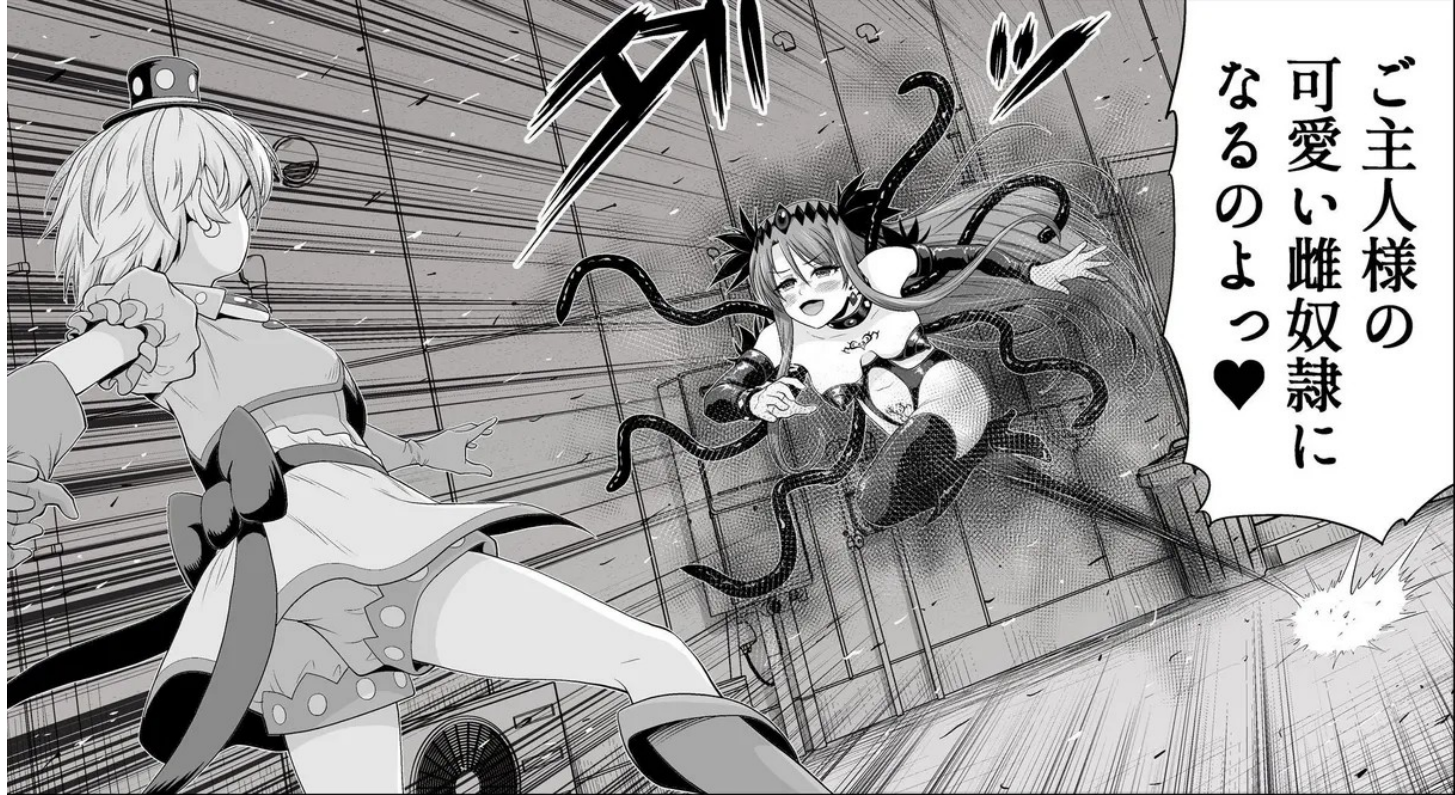
救い出す!!

……本当に  
あなたは  
格好いいわ  
アサヒ……



でも  
これから  
は……

ご主人様の  
可愛い雌奴隷に  
なるのよっ♡



ククツ 今の俺は  
エリナと一心同体

俺を倒す為にはエリナを  
殺さなければならぬ

どうする  
アサヒ?

くっ!

バリアにより  
ユウに感知されず  
助けも入らない

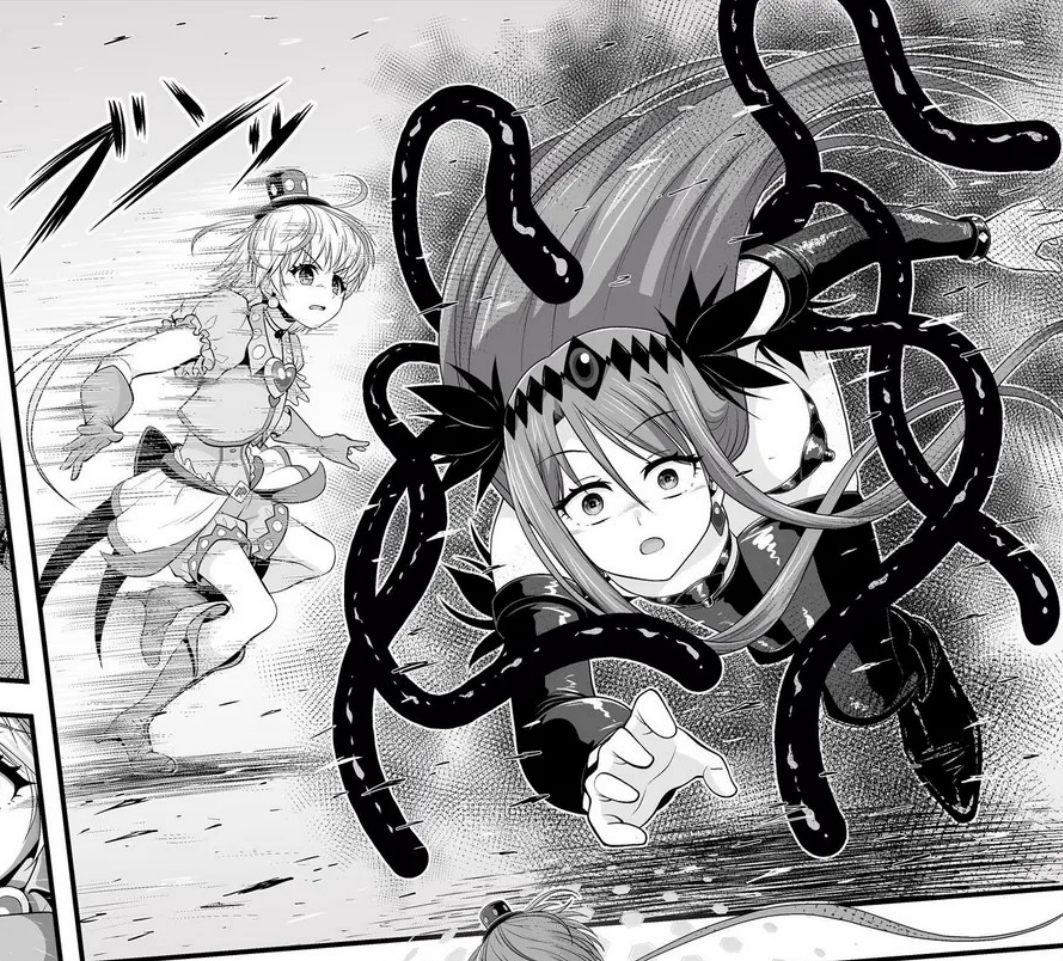
ガガガガガ



そして俺の闇の力で  
エリナは強化  
されている!

お前の敗北は  
始めから  
決まっていたのだ!!





シャインシールド  
**輝光壁!!**



な なんだこの異常な速さとパワーは!?



接近戦ならボクは  
ユウにだって  
負けない!



ま 待て!



あああああ  
あああああ  
ああっっ!!

ぐああああ  
あああああ  
ああっっ!!

光のエネルギーだけを  
流し込めば  
エリナの身体は  
消滅しない……!!



無傷では済まないけど…  
ダーゲルだけを倒すには  
この方法しかない……!



くっくそ  
おっ!  
こんな事  
がっ…!

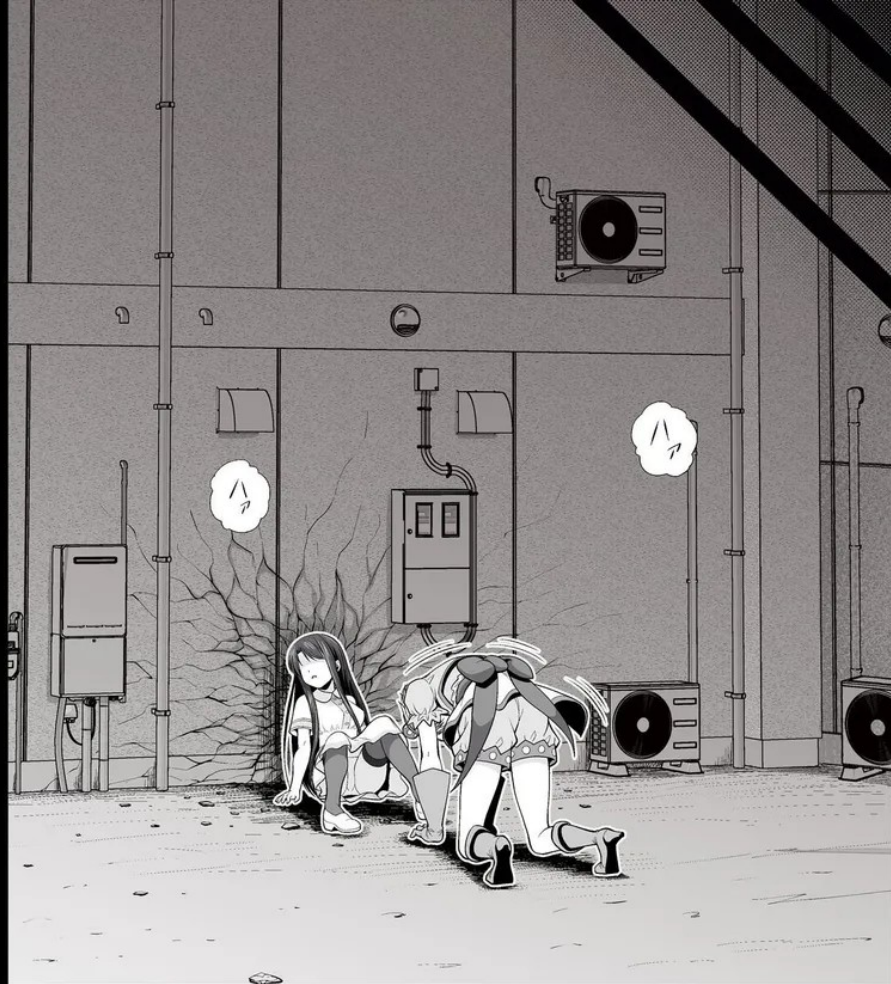


消えろっ!!  
ダーゲル!!



ぎああああ  
あああああ

あああああ  
ああっっ!



…うう

ハア

ハア

ハア

ハア

エリナ  
……!

アサヒ  
……

…私…  
今まで…  
ダーゲルに…

良かった!  
元に戻った  
んだね!

ごめんな  
さい……

私のせいで  
皆に迷惑を……

ううん

ボクの方こそ  
気付けなくてごめん

身体は  
大丈夫?

ええ 早く  
帰りましょう

エリナが無事で  
本当に良かった……

これでようやく  
終わったんだ……

ああ……なんだか  
安心したせいか

一気に気が  
抜けたな……





グキ

グキ

グキ

グキ

おおっ

んあ



グキ

おお

こっ...

こっちやって...

グキ

ゆっ...  
指でっ...

グキ

グキ

グキ

グキ

クハハッ  
ようやく  
アサヒの脳を  
侵食したぞ...!

ひよっ...  
表面をっ...

なぞって...  
あああっ...

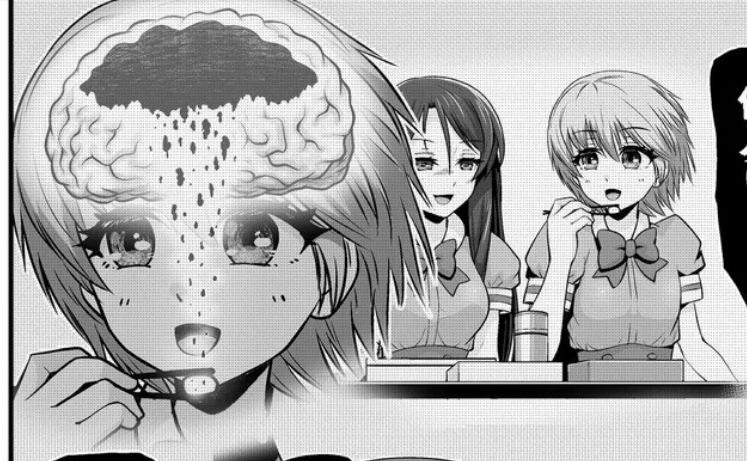
グキ

だっ...  
だんだんっ...

ふっ...  
深くうっ...

グキ

アサヒの食事に  
毎日少しずつ  
俺の細胞を混ぜ  
アサヒの体内に  
侵入し



先程アサヒが  
光のエネルギーを  
放出した時



脳の守りがなくなり  
アサヒの脳を侵食できた

まあ……奴の力が  
予想以上だった為

あと少し脳の侵食が  
遅れていたら俺は  
消滅していたがな……



んおおお  
おっ……♡



さて それでは  
処女を頂こうか

ククツ せっかくだから  
意識を半分戻してやろう

羨



……あ  
……あれ……？  
ボ……ボク……  
一体……  
どうなっ……て……

入れるぞ  
アサヒ！

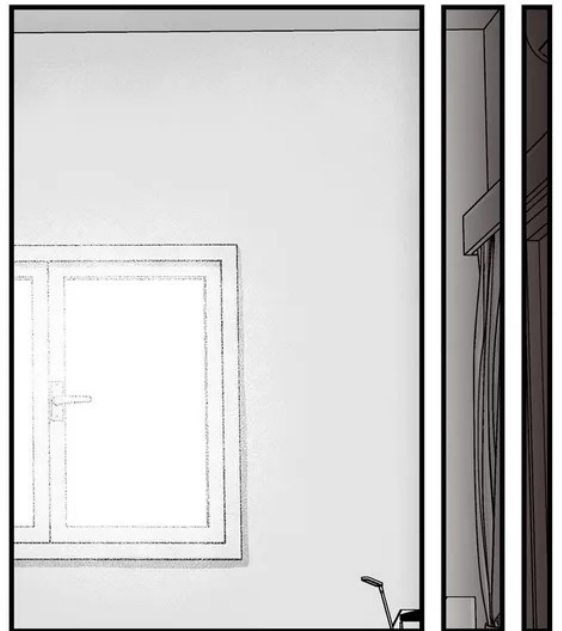
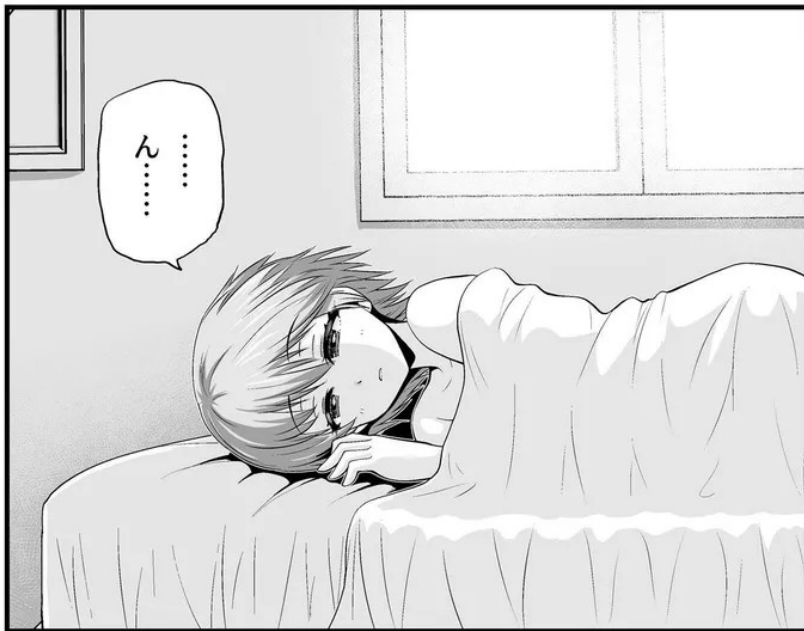


……だ  
……駄目……  
そ……そんな  
……事……











！ 思い  
出した  
……！



そ そうだ……  
昨日何かが  
起こった気が  
する……！  
ええと  
何だっけ……



えっ……！！  
な なんてこんな  
胸が膨らんで……！！

胸を大きく  
したくて  
たくさん自分で  
揉んだ  
から……

あはあつ  
毛

あはあつ

だから  
こんなに大きく  
なったんだ……!

あつ あつ



あつ あつ

ボクの身体……

こんなに……  
こんなに……

んあつ  
おあつ

『女の子』らしくなってる……



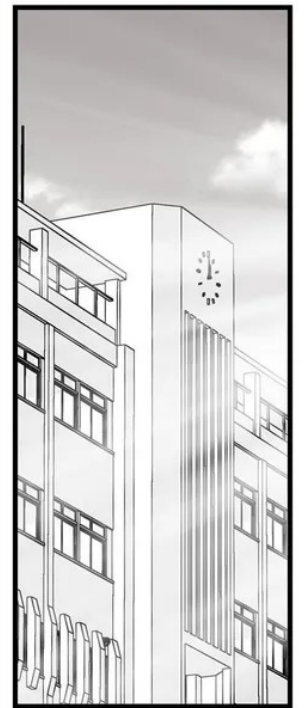
ああ凄い……  
こんなに  
大きく……

あつ あつ

あつ あつ

あつ

あつ





え 明日から  
合宿なの!?

うん  
急に  
決まって

しかも2週間も  
あるんでしょ?  
しばらく会えなく  
なっちゃうんだー

そうだね……  
合宿中はスマホの  
持ち込みも禁止だし

そっか  
……

それじゃあまた  
2週間後に

うん  
……

——あ  
アサヒ!

ん?  
どうし  
たの?

……あ……  
えっと

……アレ?  
なんであたし  
声かけたんだろ?

あれれー?  
ひよっとして  
愛しいアサヒ様との  
別れが惜しいの  
かなー?

何それー  
自分で  
言うー?

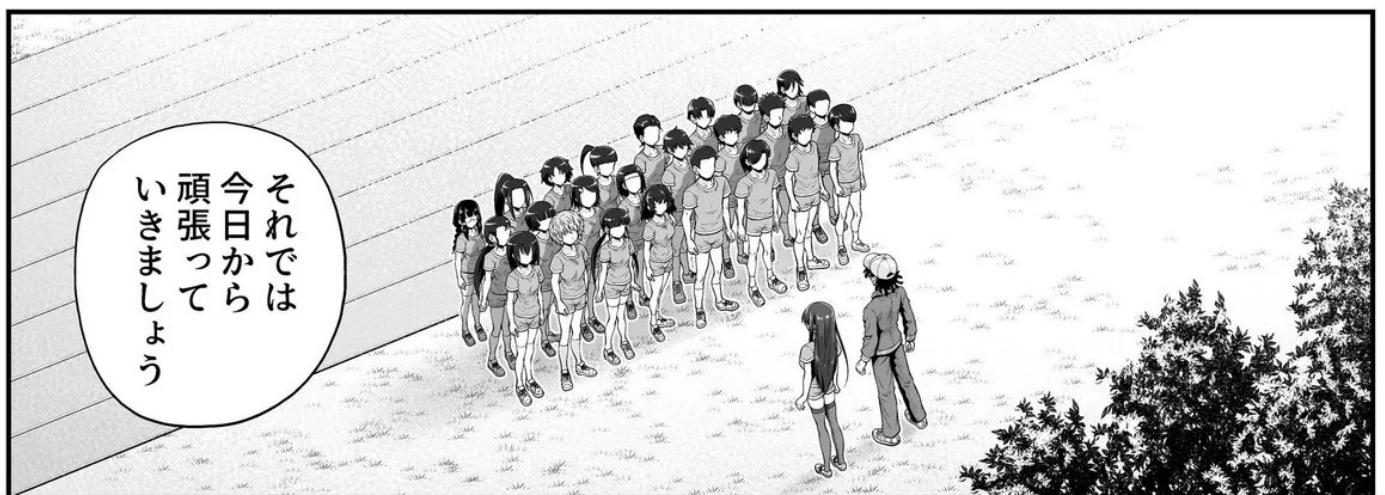
あははっ

大丈夫だよ  
二週間なんて  
あつという間だし

うん……  
だよ

帰って来たらまた三人で  
アイス食べに行こうね

……うん



合宿中の顧問は  
病欠の中島先生の代理で  
黒澤先生が担当するわ



それに……  
どこかで見た事  
あるような……

あれ……？  
あんな先生  
いたっけ……？



今すぐ  
取れ

なっ……！



ところで  
アサヒ  
お前胸に  
サラシを  
巻いている  
だろう？

えっ!!



……そ……そうだ……  
先生の言う通りに……  
しないと……

あがっ  
あう



身体を縛り  
付けたら  
実力を出せない  
だろう？

ククッ 身体を開放するのは気持ち良いだろう？

は……  
はい……

あぁ……こんな事……今まで一度もなかった……

胸でかすぎだろ

……凄え……

尻もでけえ

み……みんな見てる……ボクを女の子として……目で……

あぁ……アサヒ様

あんな淫らな身体だったなんて……

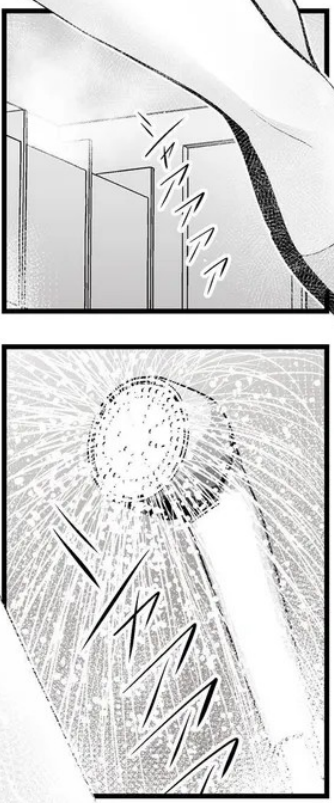
ドキ

……練習中みんなボクの身体を見た……特に男子は凄くやらしい目で……

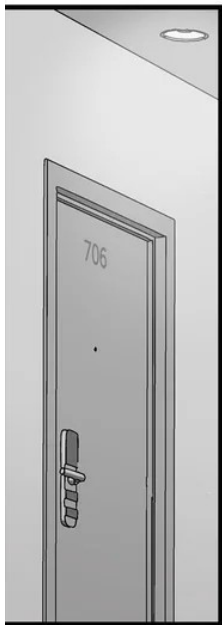
やらしい……目で……

ボクの身体……

胸もお尻も昨日より大きくなって……







女の子と  
して……



ひよつと  
して……  
ボクを  
犯したい  
の……？

ボクを……  
女の子と  
して……



ところで  
アサヒ……



まさかアサヒと  
同室になるなんてね

ボクも  
驚いたよ

それに  
清野さんも

アサヒ様と同室なんて  
夢のようです！



人は  
異性を  
意識して  
発情する  
生き物だから

え……

恥じらう  
事はない  
のよ

スル……

スル……



食事中  
男子の股間を見ながら  
ショーツを濡らして  
いたわね

そっ  
それは……

っ！！



だから

なっ!?

明日に響かぬよう  
今の内に『発散』  
させておくのよ♥

スル

スル

スル



ふっ…二人共  
何をやって…!!

だから  
『発散』よ♥

アサヒ様に  
見られながらするの  
興奮しますう♥



た…確かに  
ボクは…

みんなに  
見られて  
興奮した…  
嬉しかった…

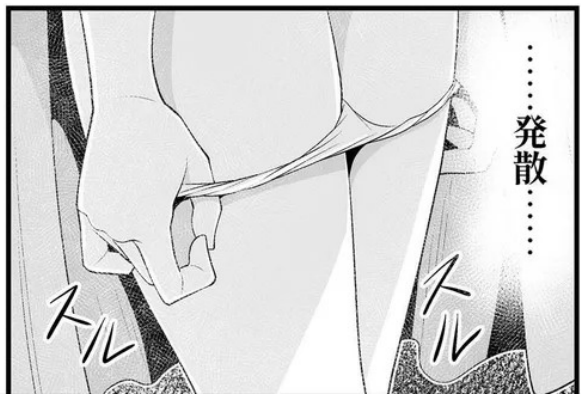


人に見られる興奮と  
悦びはエリナにも  
分かるでしょう♥



人前で  
こんな事…

人前で  
するからこそ  
発散なのよ♥



…発散…



さあ…  
アサヒも一緒に  
発散しましょう  
…♥

…い…  
一緒に…

うう…



そうよアサヒ♡  
そうやって皆で  
高め合うの♡

っんあ  
っ…

はああ  
っ…!!

ああっ♡  
綺麗です  
アサヒ様っ♡

ボ…  
ボクは  
一体  
何を…

ああ…  
でも…

フキヤ  
フキヤ  
フキヤ  
フキヤ  
フキヤ  
フキヤ



二人に見られながら  
一緒に発散して…!!

ああっ凄く  
興奮する…!!

興奮しすぎて  
ボク…もう  
っ…!!

フキヤ  
フキヤ

フキヤ



みんな…

ああ…

うふふ♡



明日からが  
楽しみね

アサヒ♡



ああああっ…!!

——合宿二日目

これは  
……

新しい  
練習着よ

身軽で  
良いで  
しょう？



卑猥な視線を昨日より  
感じてボクは興奮し

また二人と  
『発散』した……



——三日目

この日はシャワー室で  
『発散』した

二人にオマ○コを  
弄ってもらって絶頂した



——四日目

胸とお尻は  
次第に大きく  
なってる……

練習中乳首が  
擦れて欲情して……  
思わずトイレで  
『発散』したけど  
収まらなくて……

ああ……  
早く二人と

『発散』  
したい……!



うふふつ♥  
アサヒつたら  
凄く発情した  
顔して♥

丁度今日は  
『良いもの』を  
用意したのよ♥





ここれ  
は……

ジュルルル

どこかで見た事  
ある……



オ

オ

ジュルル

ジュルル

オ

オ



これは  
触手チ○ポ  
よ♡

自動で  
形が変わって  
中で動く  
ですよ♡

ジュルル

ジュルル



もう……  
抑えられ  
ない……!

うあ……

クモ……



さあ……  
一緒に  
『発散』  
しましょう  
アサヒ……♡



これは……  
使っては  
ダメ……

しよ……  
触手……  
チ○ポ……

……ダメ……なのに……



——五日目

練習着がまた  
新しくなった

これまで以上に  
いやらしい目で  
見られて

興奮で何度も  
イキそうに  
なった……

——六日目

ああっ！  
触手チ○ポ  
気持ち  
いいっ

乳首も  
感じる  
うっ！

……あれっ？  
なんかっ……  
胸の中から何か  
込み上げてっ……

ああっ  
……！

あっ……

ああっはあああっ！！

ガッルルルル

ああっ♥  
アサヒ様  
から母乳  
が……♥

きっと胸が  
急成長した  
影響ね♥

母乳が漏れないように  
吸い出さないと♥

え……？

ひうううう  
うううう!!!

んっ

あゝ

あゝ

すっ凄いっ!  
母乳吸われてる  
のおおっ!!

んっ

んはあっ  
ひうう  
ううっ!  
きつ気持ひ  
いいいいっ!  
もつと母乳  
吸ってえっ!

あゝ

さあ 母乳を  
吸われたまま  
イクのよ♡  
んああっ!!

ブルブル

はんひあああ  
あああ  
あつあつ  
!!!

ゴクッ

ゴクッ

— 今後は  
その触手が  
母乳を  
吸い取って  
くれるわ♡

あなたは  
常に搾乳の  
快楽に悶え

『女』らしく  
なるのよ♡

もつと

——七日目

ワイ

ワイ

ワイ



……ああっ……何度も  
母乳を吸われて  
身体が疼くう……!

ワイ

ん……

ワイ

ひ……

早くっ……  
早く触手チ○ポで  
発散したい……!

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

早くっ……

くそっ……もう  
我慢できねえ!

アサヒのあんな  
姿見てたら……!

え……?  
俺も……!



えっええっ!!  
う嘘でしょ  
……!?

そそんなっ……  
男子達が……!

ボクを見て……

あ……あんなに……  
チ○ポを扱いて……

あ……ああ……

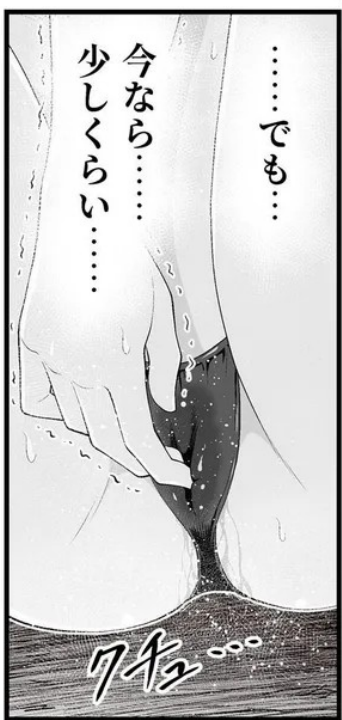
ぼ……ボク  
も……

ボクも……!

ああっ凄いいっ!  
ボクっ男子達とっ

一緒に『発散』  
してるうっ!!





——八日目

……体中が…  
疼く……

昨日の事を  
思い出して  
しまって……

ゲルゲル……

ああ……  
『発散』  
したい……

でも……  
練習中は  
さすがに……

……でも……

今なら……  
少しくらい……

何をしてらる？



『発散』  
したいなら  
しろ

これは  
その……



え？

ただし……







……欲望……  
を……

……女の……



……ああ……  
女の欲望を……  
開放すれば……

こんなに……  
気持ちよく……  
なれるんだ……



——九日目

ボクらは  
いつでも  
『発散』する  
ように  
なった……

欲望を開放し……  
ボクらは自由に  
なれた……



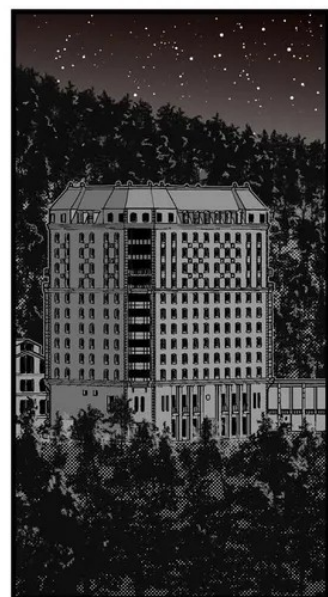
——十日目

気持ちいい……  
気持ちいい……

胸……オマ○コ……  
心……身体……全て  
気持ちいい……

気持ちいい……  
気持ちいい……  
気持ちいい……

気持ちいい……









んはあああつ！

あああつ！  
チ○ポがっ  
入ってる  
ううっ！



ボクを女として  
見てなくてっ！

いつもボクにつ  
喧嘩で負けてた  
石山君のっ  
チ○ポがあつ！



……そ そうだ……  
成長すると男の方が  
力が強くなって……  
女の子の細い腕じゃ  
勝てなくなっちゃっ  
んだ……



そうだ……  
ボクは……  
女の子  
なんだ……

男に犯される……  
女の子……



何嬉しそうな  
顔してる!?

出すぞ！

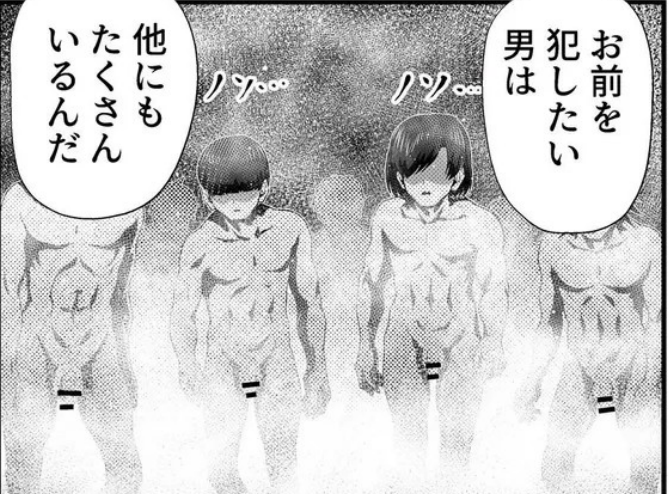
あああつ！！



なっ……  
中に出て  
るううう  
っ……！



……あ……  
……う……  
まだ終わり  
じゃねえぞ



お前を  
犯したい  
男は

他にも  
たくさん  
いるんだ



……あ……  
……あ……  
……み……  
みんなが  
……ボクを……

ボクは今……  
男子達に犯されて  
いる……

オマ○コを……  
ア○ルを……  
口マ○コを……

ボクの全てが……  
女の子として……  
犯されてる……

ボクは……  
『女の子』……  
なんだ……

あああ……  
なんて……

……ナンテ……嬉シインダロウ……

ん……

あれ……？  
ここは……？

なんか頭は  
スッキリしてるけど  
よく思い出せない……

確か今は……  
夏休み前だったけ……？



何あの  
映像!?

あれは  
ボク!?

そ  
そんな……  
ボク  
あんな事  
した覚え  
は……!

……した……  
……覚え……は……

……あ  
……あ

あ……



ああああ  
ああああ  
あ……つ!!!  
そっ……  
そうだった!!  
ボクは……!!

あああつ  
あああつ  
あああつ  
ダーゲルによって  
今までずっと……!!

クククッ  
思い出したか





お…お前は  
エリナだけじゃなく  
部員達まで操って…!!

ダーゲル!!



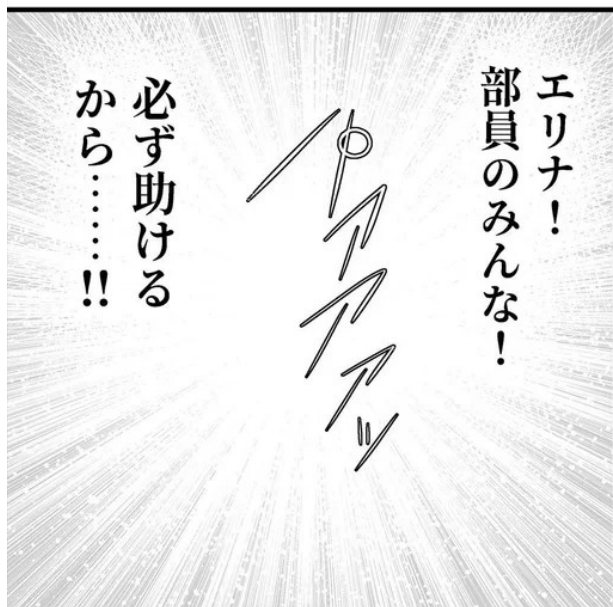
ククツとにかく  
俺に勝てたら  
全員元に戻して  
やろう

そ  
そんな事  
ある訳が  
……!!



何を言っている  
あの痴態の  
半分以上は  
奴らの欲望が  
引き出したもの

それはアサヒ……  
お前にも当てはまる



必ず助ける  
から……!!

エリナ!  
部員のみんな!

パァァァッ



そ そうだ……!!  
とにかくダーゲルを  
倒さない!!

シャイン  
チエンジ!!



えっ!?  
この姿は  
……!!



シャインハーツの  
変身姿はその人物の  
心の姿を映すのだ



こ……この姿  
は……  
確か……  
あの時の……



……え?



ほら  
自分でよく  
見てみる



ククツ  
可愛いじゃ  
ないか

なっ……

か……  
可愛い……!!



『女の子』  
らしい……姿……  
とても  
いやらしい……



……こ……これが……  
ボク……  
こ……こんな……  
可愛い服を着て……  
胸も……お尻も……  
こんなに……



って ボクは  
何を考えて……！  
今からダーゲルと  
戦うのに……！



行くぞ  
ダーゲル！！  
そっそうだ！  
早く行かない  
と……！！



なんで  
こんなに  
胸が高鳴るん  
だろう……  
どうした？  
早くかかって  
来い



……ああ……でも……  
……男の人を見るだけで……





……あれ？



なんで……  
ボクは……  
ダーゲル  
に……

クククッ……  
まさか俺の胸に  
飛び込んで来る  
とは……



……ダ……ダーゲルの身体……  
遅しくて……力強くて……

……女の子の力じゃ  
絶対……敵わない……



可愛いな  
アサヒは

はああ  
あああ  
っつ!!  
あつ頭撫でられ  
てるうっ!!  
そっそれにまた  
可愛いって……!!



俺のチ○ポで  
可愛がって  
やろう

あああ……  
遅しい  
チ○ポ……

……女の子が……  
男の人に勝てる訳……  
ないんだ……

……ああ……そうだ……



お前が『発散』に  
使っていた  
触手チ○ポも  
俺の物……

お前はずっと  
俺のチ○ポの  
虜だったのだ  
そっ そうっ!!  
ボクはずっとこのチ○ポの  
虜だったのおおっ!!



どうだアサヒ  
俺のチ○ポは？

凄いいっ!!  
気持ちいい  
いいいっ!!  
子宮の奥まで  
かき回されて  
るううっ!!



今後触手チ○ポに  
犯されたいか？

んあぁっ!!犯され  
たいいっ!!

他の事はもう  
どうでもいいのだな？

どうでもいいっ!!  
もっと犯してえっ!!



世界の平和や  
ユウやエリナの  
事もどうでも  
いいのだな？

っ！！



世界を救う  
「王子様」より  
男に犯される  
「可愛い女」の方が  
いいのだろうか？

っ！！

よ……



ククッどうした？  
他の事はどうでも  
いいのだろうか？

そっそれ  
はっ……！



…そうだ…  
…思い出し  
た…  
…ぼ…  
…ボクは…



…ボクは…  
…確かに可愛い  
女の子に…  
…憧れてた…

…でも…



…かつてボクが  
憧れていたのは…

「格好いい女の子」  
だったんだ…

だから  
…



よくない  
いいいい  
っっ…!!!

！！

『王子』のボクも：  
ボクの大事な一部  
だったんだ……

…否定しなくても  
良かったんだ……！

グッ……





乳首マ○コは  
気持ちいいか？



んおっおっ!!  
ほおっおっ!!

しゅっしゅごいっ!!  
乳首の中かき回されてっ!!

体中がっ気持ちよさとおっ  
悦びで満たされるうっ!!



その快楽は  
触手で肉體改造した  
雌奴隷の「女」の身体だから  
味わえるのだ

めっ雌奴隷のっ……  
おっ女の身体っだからっ……!!



「女」の悦びと  
幸せに比べたら  
「王子」など  
見戯に等しい

今の自分の姿を  
見てみるがいい



あああ  
…っ！

今の  
ボクの姿っ…

なんてっ……

なんて  
いやらしい  
姿なのっ…！



今のお前は  
何者だ？

っ！！

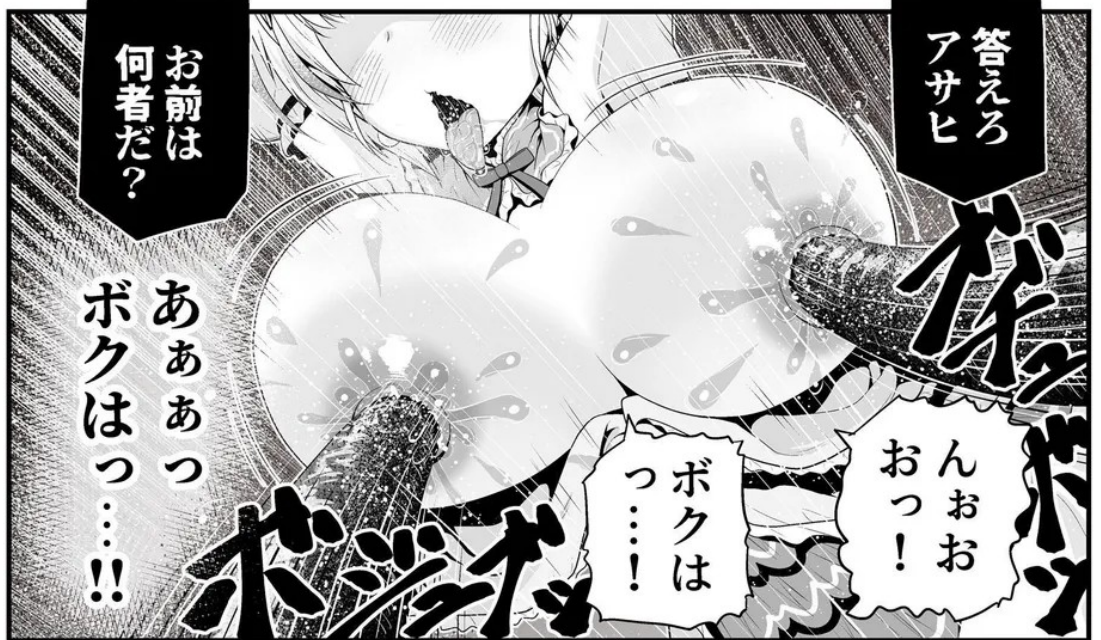
ボクボク

「王子様」か？  
「正義の味方」  
か？

ボクボク



ボクはあ  
あっ…！！



お前は  
何者だ？

あああっ  
ボクはっ…！！

答える  
アサヒ

ボクは  
っ…！！

んお  
おっ！

ボクはっ  
女の子お  
おおっ!!

オオオオ  
オオオオ  
オオオオ

大きな胸を  
タップタップ  
揺らしてえっ!!

オオオオ

乳首マ○コを  
グチュグチュ  
されて悦ぶっ!!

オオオオ

ただの  
淫乱な雌  
ですうっ!!

オオオオ

オオオオ

オオオオ

そうっ...分かってたっ...!!  
ずつと前からもう  
分かってたんだっ...!!

触手チ○ポ  
にっ!!

オマ○コもっ  
胸もっ...!!

女の子のっ  
雌の体をっ

オオオオ

全部ジュボジュボ  
掻き回してもらってっ!!  
支配してもらおうのがっ!!

オオオオ

オオオオ

オオオオ

これがつ…ボクの  
なりたかった…

『本当』の  
女の子の姿  
れすうっ!!

**ポルル**

クククッ  
その通り  
だ…

しかし…

**ポルル**

んおほお  
おっつ!!

あッアール  
にもおおおっ!!

お前を気持ちよく  
してやっている  
俺の触手チ○ポを  
呼び捨てるのか?

んあああっ!!  
すいません!!

**ポルル**

しよっ触手  
チ○ポ様あ  
ああっ…!!

**ポルル**

そして…お前に  
雌の悦びを与え  
支配している俺は  
お前にとって何だ?

なあ…  
雌牛奴隷  
アサヒ?

ああっ  
それはっ  
…

それはああ  
あっ…!!

ご主人様

あっ♡♡

ポポポ

ポポポ

あなた様はボクの♡  
雌牛奴隷アサヒの♡  
ご主人様ですうっ♡

ポポポ

クハハハッ  
よく言った  
アサヒ



褒美に  
女の悦びを  
もう一つ  
与えてやる

んむっ♡

オオオ

きつキスうっ♡  
ごっご主人様とおっ♡  
ああっ♡初めてのっ♡

あああああ♡  
ご主人様の舌がっ  
絡み合ってきてっ♡

口の中があっ♡  
頭の中が蕩け  
ちやうううっ♡

チ○ポも  
忘れるなよ

んはあ  
ああっ♡

ポポポ

ンム

んちゅ

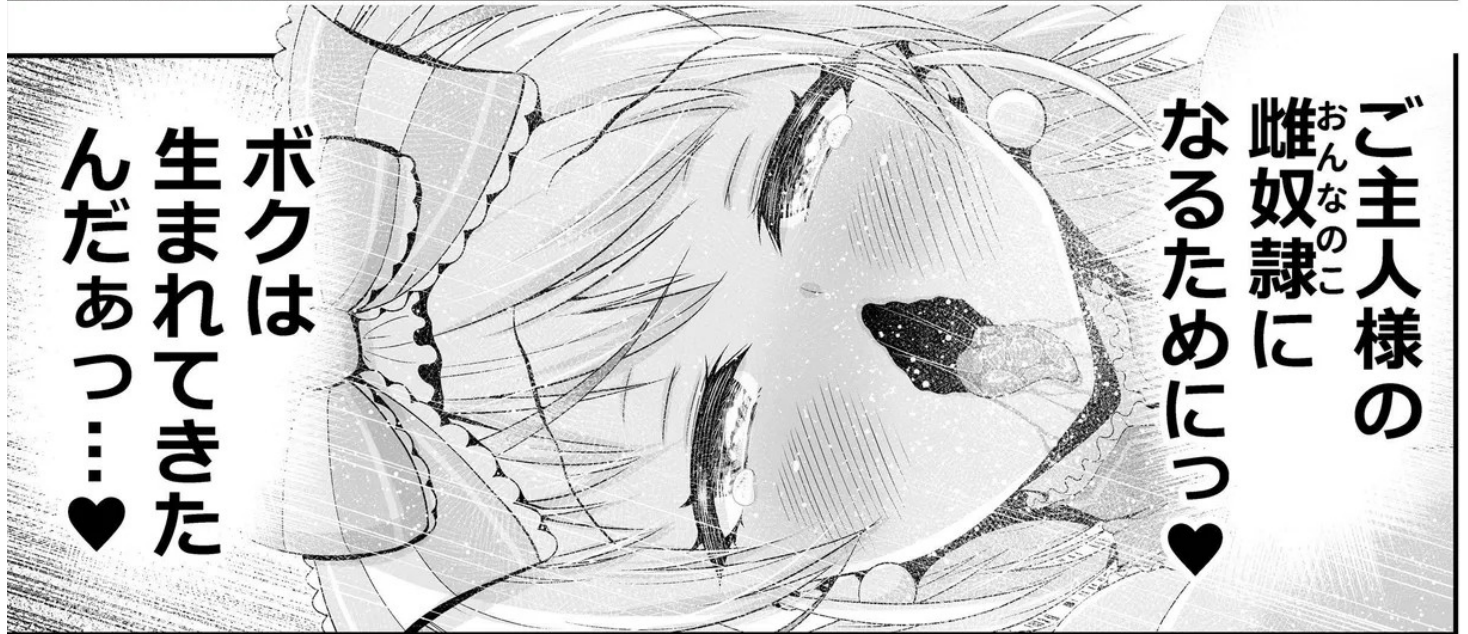


あああああつ♡  
きもひいいつ♡

んんん♡  
身体もおつ♡  
心も全部う  
ううっ♡

あああああつ♡  
ボクはっ♡  
『王子』なんか  
じゃないっ…♡

ボクは…♡  
ボクはっ…♡



ご主人様の  
おんなのこ  
雌奴隷に  
なるためにつ♡

ボクは  
生まれてきた  
んだあつ…♡



さて  
ここで  
もう一度  
間こうか

お前は俺の  
雌奴隷として  
生きられれば

世界の平和や  
ユウやエリナの  
事はもう  
どうでも

どうつでもいい  
れすううっ♡

大好きな  
ご主人  
ひやま  
のっ♡

雌牛奴隷  
とひて  
生ひる  
事があつ♡



クククッ  
あの『王子』が

んちゅんちゅん  
ちゅんちゅん

れゅんちゅん  
ちゅんちゅん

すっかり  
可愛い女に  
なった  
ものだ

ちゅんちゅん  
ちゅんちゅん



んちゅんちゅん

ちゅんちゅん  
ちゅんちゅん

ボロボロ

ボロボロ

ジュジュ

れゅんちゅん  
ちゅんちゅん

ジュジュ

アサヒの全て  
れふうっ♡



さあ 中に  
出すぞアサヒ

んはあつ♡

出ひて

くらはい

ご主人

ひやまっ♡

雌牛奴隷の  
膣内にいっ♡

ボロボロ

ジュジュ

ジュジュ



『ダークハーツ』  
アサヒよ

はい…♡

今のボクは  
ご主人様の  
雌牛奴隷  
です…♡

ボクは  
もう…  
『王子』じゃ  
ない…

ダークハーツ  
アサヒは…

ご主人様に  
永遠の忠誠を  
誓います…♡

これから  
は…

おんなのこ  
雌奴隷  
として  
生きていく  
んだ…♡



クク……  
これで残りは  
ユウだけだ……

明日街に戻るが  
用意はいいな  
二人共？



はいご主人様♥  
ユウの体内にも  
ご主人様の細胞を  
忍ばせてあります♥

ボクの時みたいに  
ユウに光の力を放出させて  
脳の守りを無防備に  
すれば……♥

あはあ♥

んほ♥

あはあ♥

んほ♥



その時はユウも  
ご主人様に侵食  
されてっ……♥

ボク達と同じっ  
雌奴隷にっ……♥

ふあ♥  
はあ♥

んほ♥  
あ♥



なっ…



大丈夫だ  
こちらには  
エリナと  
アサヒがいる…  
それにユウの  
体内には俺の  
細胞が…

セル…



ユウ!!

何故この  
場所が…!?



!!



消滅して  
…!!

ひ…光の  
力で…

お…俺の  
細胞が…



君だけは  
絶対に  
許さない!!

ダーゲル  
……

第三章へ  
続く…

# ～～あとかき～～

どうも、サークル『エクリプス』のコーアンです。

この度は『魔法少女シャインハーツ第二章 ～藤間アサヒ～』  
をお買い上げいただきありがとうございます。

このアサヒというキャラは、  
第一章の時点ではまだほとんどキャラ描写がされておらず  
（『ボク』という一人称すら出ていませんでした）  
第一章はエリナのキャラ描写が少なかったのもあり、  
第二章のアサヒは結構丁寧に描写しました。

個人的にこういったボーイッシュ系のキャラは好きです。  
イケメンから女の顔に変わる時のギャップが良いんですよね。

あと、Hシーンについては合宿の途中までは  
凌辱漫画として少し物足りなかったかもしれません。  
前回と方向性を少し変えてみた結果ですが中々難しいですね。  
その辺りは第三章で挽回できればと思っています。

第三章では、ついに『陽ノ下ユウ』が雌奴隷に墮とされます。

何故、シャインハーツや闇の魔物が誕生したのか……？  
陽ノ下ユウとシャインハーツ達の行く末は……？

次回作で完結の予定です。  
是非、物語の最後まで見届けていただければと思います。

それでは次回作もよろしくお願ひします。

2025年6月10日 コーアン

pixiv→<https://www.pixiv.net/users/56162663>

ニジエ→<https://nijie.info/members.php?id=158345>

Ci-en→<https://ci-en.dlsite.com/creator/7151>

連絡先: [isyuuki@icloud.com](mailto:isyuuki@icloud.com)